

腰痛症の災害発生状況報告書（記載例）

1 災害発生日時

令和 ○年 ○月 ○日 午前・午後 10時30分頃

2 災害発生場所（具体的に記入してください。）

さばかに産業株式会社 ○○工場内

3 災害発生時の現場の状況について

- 現場の状況が原因で、通常の動作を行えない状態でしたか。

（部屋が狭かったため、動きが極端に制限されていた等。）

はい ・ いいえ（○をつけてください。）

- 「はい」の場合、下記にご回答ください。

(1) 狭い場所（ m × m）

(2) 広い場所（ m × m）

(3) 天井の低い場所（高さ m）

(4) 床面は（ たいら でこぼこ ）

(5) 床面は滑りやすい（理由 ）

4 災害発生時の際に取り扱った品物等

(1) 品物等の名称（ 当社製品（缶詰）の入ったコンテナボックス ）

(2) 品物等の重さ（ 50 キログラムほど ）

(3) 品物等の大きさ（縦（高さ）50 cm, 横 50 cm, 長さ 60 cm）

(4) 品物等の形（ 円形 球形 長方形 ）

(5) その他（ ）

5 災害発生時の際の姿勢について

（ 起立 ・ 中腰 ・ かがんでいた ・ その他 ）

- その他の場合は具体的に姿勢を記入してください。

6 どの様な作業をしていた際に腰部に痛みを自覚しましたか。

(作業の方法・動作・体位等～例：両手で〇〇〇を持ち上げ右横の棚の上(床上1.5m)に積み上げようとしたところ、足元が滑ると同時に体を捻じった…等)

当社製品(缶詰)の入った重さ50キロほどのコンテナボックスを、工場内倉庫から社用車に運ぶため、持ち手を両手で掴んで持ち上げたときに、身体のバランスを崩したため、腰に激痛が走った。

7 災害発生時の痛み

(1) 無かった (2) あまり無かった (3) ひどかった

8 災害発生後の動静

- (1) そのまま作業を続けた
- (2) 作業場内で休んだ
- (3) 作業場内で休んだ後再び作業をした
- (4) すぐ自宅に帰った
- (5) すぐ病院に行った

9 災害発生後初診日までの状況(前記(5)以外の時に記入)

- (1) 休業し自宅で療養した
- (2) 休業し自宅で貼り薬等で手当をした
- (3) 通常通り出勤した

10 治療を受けた病院

名称(〇〇病院)

初診日 令和 〇年 〇月 〇日

11 現在の症状について

(例：症状は治まった。)

痛みはありません。生活に支障はありません。

12 今までに腰が痛くなったことはありますか

ない・ある

- ・ ある場合、その月日・どこの病院で何日ぐらいどのような治療を受けたかについて

1 3 その他の病歴について

高血圧症（飲み薬を服用）

1 4 災害発生状況を図示してください。（写真添付可）



1 5 現認者の職名・氏名について

製造部 管理課 課長 足羽川 次郎

以上のとおり相違ありません。

令和 ○年 ○月 ○日

事業主氏名 さばかに産業株式会社 代表取締役社長 越前 春子

被災者氏名 福井 一郎

〇〇労働基準監督署長 殿